

## 第3回伊賀市住民自治のあり方検討委員会 意見一覧

No.	項目	意見分類	意見内容	
1	活動資金	(2)	地域包括交付金の減額や組織体制により新規事業を始める余裕がないという意見がある	
2	活動資金	(2)	補助金申請が自治協全体に広がらないのは申請が難しかったり、制度自体が使いにくいといった可能性がある	
3	他団体との連携	組織運営	(1)	自治協とは別にNPO等を立ち上げて事業を行っている地域がある
4	他団体との連携	組織運営	(1)	既に地域で活動している外部団体と連携し事業を展開している地域がある
5	活動資金	(3)	なぜ資金が必要なのか、目指すべきまちづくりとは何なのかという目的をはっきりさせることが大切である	
6	行政等による支援	(3)	事業の目的を明確化するために地域まちづくり計画の見直しなどの支援の強化が重要	
7	行政等による支援	(3)	市全体を一律で考えるのではなく、地域の個別の事情を考慮して支援していくべき	
8	他団体との連携	組織運営	(3)	一部の事業においては、企画や補助金申請を外部団体が担い、自治協が住民参加の窓口となるような連携方法が有効
9	他団体との連携	組織運営	(2)	外部団体が自治協と連携する際、地域の状況や課題が違うため同じような事業を行っても協力体制に温度差がある
10	住民参加・参画	組織運営	(3)	外国人も地域の一員という意識を自治協や地区市民センターの職員が持つことで更なる住民参加につながる
11	住民参加・参画	(3)	防災などの住民が我が事と捉えてもらいやすい事業を行うことで住民参加の動機付けにつながる	
12	住民参加・参画	(1)	防災事業をとおして外国人住民が地域活動に参加できている地域がある	
13	住民参加・参画	(3)	震災から時間が経つと住民の意識が防災に向きにくくなるが、いわゆる「防災と言わない防災」という実施方法が有効である	
14	行政等による支援	(2)	自治協の漠然とした課題を拾い上げて、必要に応じ外部団体などに繋ぐという中間支援機能が課題である	
15	行政等による支援	(1)	地域福祉コーディネーターの制度を創設していることは実績として評価すべき	
16	行政等による支援	(2)	地域福祉コーディネーターだけでは、マンパワーが足りず把握できる領域は限られる	
17	行政等による支援	(3)	住民や他団体と自治協の繋ぎ役の機能を持った専門職などが必要である	
18	行政等による支援	(3)	地域担当職員も含め、繋ぎ役の機能を強化させることで自治協活動の活性化につながる	
19	行政等による支援	(1)	様々な支援人材（地区市民センター職員、生涯学習支援員、支所の地域担当職員、地域福祉コーディネーターなど）が確保され、地域支援を行っている	
20	行政等による支援	(3)	自治協にとっては支援人材が頼れるかどうかが大変であり、制度より支援者の思いや信頼関係が重要	
21	行政等による支援	組織運営	(3)	地域に住んでいる市職員などの公務員を活用するというのも有効な地域支援策の一つである
22	行政等による支援	組織運営	(3)	地域に住んでいる元消防士等の元公務員や元看護師等の専門知識を持った者が地域活動に参加することで地域力が向上する可能性がある
23	住民参加・参画	(2)	毎年同じような事業を開催していたり、高齢者向けのイベントが多いと若者世代を取り込めない	
24	住民参加・参画	(2)	行事の周知方法やチラシのデザイン等を見直すことにより幅広い世代や国籍の参加が見込まれる	
25	組織運営	(1)	各自治協発足時からホームページを立ち上げるなど力を入れてきた結果、一部地域ではSNSの活用などが進んでいる	
26	住民参加・参画	組織運営	(2)	子育て世代のほか中学生や高校生、大学生を地域活動に取り込むのは更に難しいので、いかにその層に呼びかけるかが課題である
27	組織運営	(2)	自治協の活動に参加しているスタッフのやりがい全国と比較して低い	
28	組織運営	(3)	自治協活動をしているスタッフ自身がやりがいを持って活動できることが大事であり、それが担い手不足の解消にも繋がるのではないかと	
29	住民参加・参画	(2)	住民が地域の活動に自分ごととして参加する意味やメリットが見いだせないで参加につながらない	
30	住民参加・参画	(2)	自治協発足時と比較し、小学校の統合などにより何が自分たちの町の象徴なのかを認識しづらくなっていることが、地域参加への動機が生まれにくい原因の一つ	
31	住民参加・参画	(3)	住民が地域に参加する動機を生み出すには地域に新たに象徴を作り出せるかが重要である	
32	住民参加・参画	(3)	若い世代にとって、子供と一緒に参加できる企画などがあれば、わが町という感覚が芽生えるのではないかと	
33	住民参加・参画	組織運営	(3)	行事ありきではなく、顔が見える関係づくりができるかが特に大事である

(1)・・・成果/これまでの取り組み

(2)・・・問題点/取り組みが期待されること

(3)・・・課題（問題解決に必要なこと）/今後期待される変化